

平成23年度京都府立峰山高等学校弥栄分校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針（3～5年の中期経営目標）	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>全教育活動をとおして、生徒・教職員がともに成就感と感動を味わえる、明るくさわやかな学校づくりに努める。</p> <p>[地域と連携した弥栄キャンパスの教育] ① きめ細かな指導による、校種間、専門機関と連携し、地域と一体となった教育の推進</p> <p>[ものづくりを生かした教育と個性を伸ばす教育] ① 農業の多面的機能を視野に入れた農業教育の実践 ② 家政科における生活産業分野で活躍できる人材の育成</p> <p>[自立精神の育成] ① 人を大切にし、同時にモノを大切にする人材の教育 ② 行事を企画・運営できる人材の育成</p> <p>[特別教育活動の充実] ① 部活動や生徒会活動を活性化し、集団の一員としての規律・マナーの育成</p>	<p>[成果] ① 専門学科の特性を生かした地域と連携した活動を推進した。（奈具丘祭、ボランティア活動など） ② 学校評価による学校改善点を明確にした。 ③ 特別支援の視点も含めた指導のあり方の研修を深めた。 ④ 個々の生徒に応じた早期進路実現を図った。 ⑤ 社会人講師の活用による魅力ある授業の創造を実践した。 ⑥ 生徒授業評価を活用した「わかる授業」の追求を図った。 ⑦ 奈具丘通信、学年通信による広報活動を推進した。 ⑧ 年間漢字テストの改善を進めた。</p> <p>[課題] ① 「わかる授業」につながる一層の授業改善と評価方法の研究 ② 遅刻・欠席に現われる生活面に課題を持つ生徒への継続的・組織的な指導 ③ 基本的な生活と規範意識の確立 ④ 継続的進路指導による進路意識の育成と早期進路実現 ⑤ 他者への思いやり（不快な思いをさせない等）の育成 ⑥ 特別活動、農家クラブ活動、部活動の活性化 ⑦ 配慮を要する生徒への課題を明確化した組織的な連携・支援活動</p>	<p>① 「わかる授業」づくりと学習習慣の定着指導 ② 専門学科の特長を生かした地域連携・ボランティア活動の推進 ③ 社会人として通用する基礎的な学力とマナー指導の推進 ④ ルールとマナーを守る規範意識・道徳意識向上の推進 ⑤ 保護者への連絡徹底と連携した指導の推進 ⑥ 配慮を要する生徒への定期的な指導、きめ細かな指導の推進 ⑦ 生徒に満足感・達成感を持たせる学校行事の精選と推進 ⑧ 学校の安全管理及び危機管理対策の推進</p>

A:目標以上に達成できている。

B:ほぼ達成出来ている。

C:達成出来ているとはいえない。

D:ほとんど達成できていない。

	評価領域 (業務領域)	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価			成果と課題	
				中	期	総		
0	全体	組織・運営	組織間の連絡・協力体制の確立	・教科・学年間の連絡を密に行い意思疎通と連携を強化する。 ・快適な職場環境の確立を目指し、日常点検を励行する。 ・防火防災の意識高揚と安全対策の向上を図る。	B B C	B B C	B	各分掌及び学年部との緊密な連携を図った。職場環境は充実したが、防災対策は不十分。
1	教務部	学力の向上	学習の姿勢の確立、家庭学習の促進	・週末課題を出し、生徒に学習習慣をつける。 ・遅刻・忘学を減らし、学ぶ姿勢を確立させる。 ・学力の向上を図る。	C B C	C B C	C	学ぶ姿勢は一定定着。週末課題等、尚努力が必要
2	生徒指導部(含む人権教育部)	生徒指導(特別活動を含む)	主体性・協調性・責任感の育成と規範意識の向上	・学校行事を計画的に実施する。 ・生徒会・委員会・部活動の活性化に向け支援する。 ・生徒心得を遵守させる。	B C C	B B C	B	学校行事については、概ね実施できた。しかしルール・マナーの徹底等を含め、行事前には生徒自身の口から生徒へ投げかける機会を確保したい。
		人権教育	生徒・教職員の人権意識の向上	・早期に年間計画を作成する。 ・計画的に人権学習を行う。	B C	B B	B	ほぼ年間計画の予定で人権学習が実施できた。

3	進路指導部	進路指導	希望進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年の生徒も含め、全体集会などで進路の話をする機会を増やす。</li> <li>・生徒の進路希望を早期に把握し、情報提供と適切アドバイスをする。</li> <li>・職業安定所からの情報や企業訪問等を通じて求人情報の把握に努める。</li> <li>・インターンシップを実施する。</li> </ul>	B B B C	A B B C	B	<p>年末近くになってから進路変更者が出たり、縁故就職予定者の就職先が確定しないなど、課題が残った。進学については概ね希望が実現できた。</p>
4	保健部	健康・安全教育	健康の保持のために必要な実践力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談を実施し、健康診断の結果を有効に活用する。</li> <li>・安定した生活習慣・食生活の確立のため、保健だよりや掲示板を利用して情報発信する。</li> <li>・安全点検を実施し、安全な学習環境を整える。</li> <li>・必要に応じて校内委員会を開催し、特別支援教育を推進する。</li> </ul>	B C B C	B B B B	B	<p>保健教育・管理面での個々の取り組みは概ね実施できたが、それらの取り組みを捉えて、生涯を見通した実践力の育成にはまだまだ課題がある。</p>
		環境美化指導	美化清掃活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの減量化と分別を進める。</li> <li>・学期ごとの欠席者集計と補充対象者の指導をする。</li> </ul>	C B	C B		
5	図書情報部	読書指導等	読書習慣の定着と図書および芸術作品を通しての豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書推奨のために、年1回の「読書の時間」を設定する。</li> <li>・情報の共有および図書館利用を活性化させるために案内冊子を発行する。</li> <li>・情操教育の一環として芸術作品に触れる機会を設定する。</li> <li>・公立図書館との連携を図る。</li> </ul>	B C D C	B B B B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書週間前後は貸出冊数も多くなったが、それ以降の定着は図れなかった。</li> <li>・図書館だより・立志の発行により図書館利用につながった。</li> <li>・芸術・映画鑑賞で芸術に触れる機会がもてた。</li> <li>・多くの本を借用できたが、生徒への還元で課題がある。</li> </ul>
6	農場部 (含む教科)	学科・教科指導	授業や実験実習、校外研修などにおけるルール・マナーの向上。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の安全性を図るため、服装・頭髪などの指導を行う。</li> <li>・丹後あじわいの郷フラワーガーデン等におけるボランティア活動の継続。</li> <li>・地元幼稚園児に対する草花の栽培支援。</li> </ul>	B B A	B B A	B	<p>ボランティア等は実施できたが、生徒への指導では一部課題が残った。</p>
7	家政部 (含む教科)	学科・教科指導	生徒の進路実現に向けて、生活産業で必要とされる基礎力を定着させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎知識・基礎技術のテストを定期的に行なう。</li> <li>・授業・行事の中で、キャリア教育を実践する。</li> <li>・生徒に自信を持たせるための行事の見直しを行なう。</li> </ul>	A B C	A C B	B	<p>基礎知識や実技のテストが定着してきた。行事については生徒の実態に合わせて主体的な活動となるように指導の工夫が必要である。</p>
8	庶務部	円滑な校内運営の推進・開かれた学校づくり	行事のスムーズな運営とPTA活動の活性化を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係分掌と連携をとりながら行事を円滑に進める。</li> <li>・PTA活動への参加を促す。</li> </ul>	B B	B B	B	<p>PTA活動（行事）の参加が年々減少している。</p>
9	第1学年部	生活指導	規律ある高校生活ができるように指導し、一人一人の自立を促す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無断欠席、遅刻・早退がないように指導する。</li> <li>・生徒面談や家庭との連携を密にし生徒理解に努める。</li> <li>・学級経営を通して生徒の協調性を養う指導を心掛ける</li> </ul>	B B B	B B B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席者が多く、結果として多くの留年生を出してしまった。</li> <li>・保護者との連絡を密に取り、協力を得ることができた。</li> <li>・各行事で積極的に活動させリーダーの育成に努めた。</li> </ul>
10	第2学年部	HR指導	学習習慣の定着と、規律ある生活習慣の確立。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を大切にすると雰囲気や環境を整えさせる。</li> <li>・日直・委員の役割を確実に果たさせるよう指導する。</li> <li>・家庭との連携による適切な指導を行う。</li> </ul>	C B B	C B B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HRでのいたずらや盗難を防ぐ指導ができなかった。</li> <li>・行事等で委員やリーダーを中心とした指導ができた。</li> <li>・学年通信等が確実に保護者に届く工夫が必要である。</li> </ul>
11	第3学年部	進路指導	社会で通用する力をつけさせ、希望進路を実現させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣の定着。</li> <li>・自分の役割を果たす。</li> </ul>	B B	B B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠点は減少したが学習姿勢の確立まではできなかった。</li> </ul>

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールとマナー。</li> <li>・進路部・家庭との連携を図り適切な進路指導を行う。</li> </ul>	C A	C A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校祭等での各自が主体的に取り組むことができた。</li> <li>・頭髪・ピアスは生徒の意識は変化したが十分ではなかった。</li> <li>・計画的な学年通信の発行ができた。</li> </ul>
12	事務部	施設・設備管理	安心で安全な校内生活環境の整備の促進と維持に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震工事の安全対策と設設備の安全点検等を行う。</li> <li>・施設設備等の自主点検の実施及び組織的な定期的巡回に努め、危険箇所等の早期発見及び早期改善に努める。</li> </ul>	A B B	A B B	B	安全対策・点検は十分行なえた。衛生委員会を通じて定期巡回と改善を図った。
		組織・運営	来校者・電話等の対応に対し、円滑で適正な窓口業務を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来校者や電話等に対して、親切・迅速・丁寧な対応する。</li> <li>・不審者対策として訪問者の確認等及び把握のため記録簿等の記入徹底。</li> </ul>	B C	B C	C	来校者対応は迅速・丁寧に実施できた。不審者対策については不十分であった。

教科名		評価領域 (業務領域)	重点目標 (取組の重点課題)	具体的方策	評価			成果と課題
13	国語科	学習指導	国語を的確に理解し適切に表現する能力の育成。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字指導を継続的に行う。</li> <li>・図書情報部と連携して読書指導を強化する。</li> <li>・作文指導を強化し、コンクール等に多数応募する。</li> </ul>		B B A	B	漢字能力検定準2級の合格者を出した。赤十字社の俳句コンテストで学校として団体賞を受賞した。
14	地歴・公民科	学習指導	わかる授業と基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問いかけのある授業を行う。</li> <li>・具体的な教材を整備する。</li> <li>・基礎学力テストで、基本の力をつける。</li> </ul>		B B B	A	ノートをとれるようになった。教科書を読み取る力がない生徒に「噛んで含める」指導が必要
15	数学科	数学Ⅰ 数学Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律を守り、積極的に学習に取り組む姿勢を育てる。</li> <li>・基礎学力の向上を図り、達成感を体験させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書は見やすく工夫する。</li> <li>・練習問題を増やし、生徒間で教え合う時間を設ける。</li> <li>・宿題を適度に出し、家庭学習を促し、点検をする。</li> <li>・ミニテストできるだけ行う。</li> </ul>		B B C B	B	補充問題のプリントをほぼ毎時間準備し練習を促した。学力差ばかりでなく姿勢にも差があり、集団をまとめるに至らなかった。
16	理科	学習指導	自然の事物・事象について科学的に探求する能力と態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの自然と環境について理解を深めさせる。</li> <li>・実験の時間を確保する。</li> <li>・視聴覚教材を活用する。</li> </ul>		B C B	B	ニュースなどの内容を引用し、自然災害のメカニズムと防災意識を高める授業を展開できた。視聴覚教材は、学年が上がるほど前向きな取り組みしつかり内容を理解した。
17	保健 体育科	学習指導 ・体育	各運動領域に必要な身体感覚や運動技能・運動技術の習得と、積極的に運動に親しむ資質や能力の育成。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種目の特性に合った感覚づくりを準備運動に取り入れる。</li> <li>・グループ(チーム)学習で、協力したり責任を果たすことを学ばせる。</li> <li>・生涯を通じてスポーツに親しむための資質を養う。</li> </ul>		B C B	B	基礎技術練習を反復させ、個人技能の定着を図ることができたが、基礎体力づくりの時間を確保する必要がある。また、集団の一員であることを理解させ自主的に行動させる指導が今後も課題である。
		・保健	個人及び社会生活における健康についての理解を深め、心身の健康の保持増進の実践力の育成。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが国における健康の現状と課題を理解させる。</li> <li>・「性」について人間の生と関連させて理解させる。</li> <li>・自然環境と健康についての課題学習を 実施し調査とまとめの仕方や発表を学ばせる。</li> <li>・働くことと健康の問題を理解させる。</li> </ul>		B C B B	B	ノート記入、プリントを使った授業、レポート作成、発表については概ね達成できた。ビデオ教材を使った授業が今後も課題である。
18	英語科	学習指導	外国語や外国の文化に興味を持たせ、英語の基礎的な力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座や生徒の学力に応じたプリントの活用。</li> <li>・板書や説明を工夫する。</li> <li>・AETとのティームティーチングを通して英語への興味づけを図る。</li> </ul>		B B B	B	プリント学習とその提出を評価に入れることで日常的な態度・意欲を重視できたが、授業規律では課題のある生徒が目立った
次年度に向けた改善の方向性			重点目標の達成に向けて、具体的方策を実施しその達成状況を把握するとともに課題を明らかにし評価していく。次年度において、具体的な課題を元に目標を設定し、目標が達成できるように改善していく。					